ネットワークボード

障がいのある人たちのアート活動を支 援しつつ、その個性を活かしながら社会が 必要とする革新的なサービスや商品を創 出するビジネスを展開する、株式会社フク フクプラス。今までもシブヤフォントやア ートイベントを通じて主に工房ぱれっと と様々な協働企画を開催してきました。現 在、南青山で人気の美容室「Casa di AYOMOT I 様の全面的な協力のもと、アート 作品、シブヤフォントや工房ぱれっとのぬ いぐるみ「らぶらび」作品の展示、販売を 行なう「出張まるごと美術館」を開催して おります。展示されている作品はレンタ ル、らぶらびは購入も出来るとのこと。期 間は 2/28 まで。 (編集部)



【注意!!】来場には**許可が必要**です。 希望者は**工房ばれっと(03-3797-3374)**までお問い合わせください。



新型コロナウィルスが世界中に蔓延してから3年が過ぎようとしている。コロナ禍では 蔓延防止の元、行動制限であったり黙食の推奨であったりと、私たちの日常生活に大きな 変化をもたらした。こうやって考えてみると悲観的な捉え方が少なくないように思われる ため、あくまでも私自身の生活の中の『コロナ禍の生活がもたらした良かった点』につい て挙げてみたい。

まず一点目、「風邪をひきにくくなったこと」である。それまで私は1年に2回必ずと言っていい程風邪をひいていた。ところコロナ禍になってから1回も風邪をひかなくなった。マスクを外でも部屋の中でも日常的に着用したりアルコール消毒を頻繁にするようになったことが影響していると考えられる。

2点目は、「身体を鍛える事の楽しさを知ったこと」である。コロナ禍になり自宅で過ごすことが増えた結果体重が5キロ近くも増えてしまった。これではいかんと、パーソナルジムにこの1年週1ペースで通い筋肉をつけたことによって自分に自信が付き心の健康にも繋がったと実感している。この記事を読んで下さっている皆さんにもぜひおすすめしたい。最後に誤解がないようにお伝えしたいが、コロナ禍になってよかったとは1ミリも思っていない。一日も早い終息を心から願っている。 (まつもと)